

SUPERBIKE

EXtra, EXpert and EXtreme EXPRESS--

2011 MFJ ALL-JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP ROUND 3
SUPERBIKE Race in MOTEGI
2011 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 スーパーバイクレース in もてぎ



加賀山就臣、吠える。
鈴鹿の借りはもてぎで返す!

お互いを知り尽くした加賀山就臣 vs 秋吉耕佑 決勝2レース制でバトルの行方は!? チャンスを狙う高橋巧、中須賀克行、柳川明



Q1セッションで最速タイムをマーク。決勝第1レースのポールポジションを獲得した秋吉耕佑



第1レース、第2レースともフロントロウ3番手からのスタートとなった高橋 巧



QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

シリーズ第3戦にして、初めて全クラス開催となった全日本ロードレース選手権。東日本大震災の影響を受け、J-GP2、J-GP3、GP-MONOは、今回が2011年シーズンの開幕戦。舞台となるツインリンクもてぎにとっても、震災から復興し、最初のレースとなった。ロードコースは、約70%の路面を張り替え、ライダーたちを迎える環境を整えた。

土曜日は「ツインリンクもてぎ 元気と笑顔の復活デー」と題し、「がんばろう日本!」の人文字をはじめ、Honda Collection HallのRC181やNSR500を岡田忠之が、Honda RS125Rを上田昇が、マクラレンMP4/6を宮城光がデモランするなど、親子で楽しめる様々なイベントが開催された。

もちろんコース上では、国内最高峰のライダーたちが、ハイレベルなライディングを披露。ノックアウト方式で争われたJSB1000クラスの公式予選。第1レースのグリッドを決める第1セッションは、40分で行われた。ここでトップタイムをマークしたのは、ゼッケン1をつける秋吉耕佑だった。秋吉は、MotoGPロードレース世界選手権第7戦オランダに代役で出場したため、事前テストに参加できず、第1戦鈴鹿に続き、今回もぶっつけ本番でのレースウィークとなっている。それでも金曜日はトップタイムをマーク、第1セッションでもトップにつけ第1レースのポールポジションを獲得した。

上位陣は、順調に最終セッションに進み、ここで速さを見せたのが、世界帰りの加賀山就臣だった。2周目のアタックで1分49秒840をマークし、リーダーボードのトップに立つ。これを見た秋吉も1分49秒台を2周連続でマークするが、僅かに届かず、加賀山が第2レースのポールポジションを獲得した。

「鈴鹿に比べれば、マシンの仕上がりは格段にいいね。第1セッションは、マシンセットを進めていたから全力のアタックとはいかなかったけれど、第3セッションは、最初にアタックして、秋吉の出方はうかがっていた。最後にアタックする余力はあったけれど、トップのままだったのでアタックはしなかった。新しいチームでの結果なので、素直にうれしいね。レースでも一番になれるように攻めていくよ!」と加賀山。

一方、秋吉は、「初日に比べれば、マシンも、まともってきたので攻められるようになってきました。決勝

は、1分49秒台で走りたいですね」と自信のコメント。かつては、スズキワークスのチームメイトとして切磋琢磨した。2007年には、ベアとして鈴鹿8耐を制している。お互いの性格を知り尽くしている2人を中心にレースは進んでいきそうだ。どんなバトルを繰り広げるか楽しみなどころだ。

高橋巧も徐々に調子を上げてきている。「金曜日はバラバラの状態でしたが、土曜日になって、ようやくまとまってきましたね。1分50秒台では走れると思うので、オープニングラップ、2周目までに離されないようにしたいですね」とコメント。中須賀克行は、「今回は、今ひとつ波に乗れていません。決勝は、スタートを決めて最後まで、あきらめずに頑張ります」と気合いを入れている。そしてカワサキのエース柳川明は、着実にタイムを削ってきている。「チームが頑張ってくれているので、その期待に応えたいね。決勝朝のウォームアップで1分50秒台を狙っている。2レース制は、得意なのでチャンスを逃さないようにしたいね」と柳川。

秋吉と加賀山のバトルは、確実に1分49秒台に入ってくるだろう。秋吉は、そのペースで周回すると語るが、これに加賀山が、どれだけついていけるか? コンディションによっては、高橋や中須賀、柳川にチャンスがあるかもしれない。いずれにせよ秋吉と加賀山の動きに注目だ!

決勝第1レースは11:15、第2レースは15:25のスタート。いずれも18周で争われる。

[佐藤 寿宏]

公式予選正式結果(第1レース)

- 予選:天候/晴 路面/ドライ 出走27台
- [Race1]決勝スタート/11:15(18周)

Pos No	Rider	Team	Time
1	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	1'50.348
2	71 加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	1'50.414
3	634 高橋 巧	MuSASHI RT/ハルク・プロ	1'50.894
4	21 中須賀 克行	YSP RacingTeam with TRC	1'50.909
5	87 柳川 明	TEAM GREEN	1'52.469
6	01 出口 修	エヴァRT初号機トリックスター FRTR	1'53.222
7	54 徳留 和樹	Honda鈴鹿レーシングチーム	1'53.385
8	32 今野 由寛	MotoMap SUPPLY	1'53.531
9	10 東村 伊佐三	RS-TOH&ASIA	1'53.592
10	11 須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	1'54.435
11	19 藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	1'55.124
12	13 清水 郁巳	ホンダリームR・T 高崎B'WISE R・T	1'55.282
13	15 戸田 隆	G-TRIBE	1'55.934
14	55 須藤 貞仁	CONFIA HMF	1'56.048
15	63 片平 亮輔	8810R with MCR	1'56.203
16	16 中村 知雅	チームトモマサ	1'56.487
17	31 井上 健志	炎R	1'57.046
18	45 澤村 元章	磐田レーシングファミリー	1'57.146
19	22 原田 洋孝	RS-ガレージハラダ姫路!	1'57.152
20	20 北口 浩二	クラウン警備保障RACING	1'57.250
21	69 谷 誠士郎	BMS RACING	1'57.380
22	61 奈須 勉	奈須銀金・オートサービスTAMAGAWA	1'57.506
23	99 吉井 秀美	JUMBO CLAY FOC	1'57.536
24	50 塩原 弘志	キントウンアンドオヤジグミ	1'57.787
25	73 吉広 敬	CLUB NEXT & 中村Eng	1'59.547
26	515 菊地 敦	TEAM・WILD☆HEART	2'01.217
以上予選通過車両:			
27	60 喜多田 学	南成田総合サービス+TS関東	2'01.798
	40 大貫 貴彦	ロケットケトン+ネオラグーナ	出走せず
予選参加台数 28 台 / 出走台数 27 台			
予選通過基準タイム (110%) 2'01.607			

★JSB1000[Race1]のスターティンググリッドは、ノックアウト公式予選Q1(第1セッション)にて記録されたタイム順となります。

Pole Position 加賀山 就臣 1'49.840(Q3) Q3で最速タイムをマーク、決勝第2レースのポールポジション獲得!

「開幕戦の鈴鹿は予選で一発のタイムは出たけれど、決勝は5位。その時に、足りないものや負けているものが分かったので、もてぎの事前テストで改善しました。その時点ではコースの張り替えなどもあり基準がわからず、タイムは上位にいても自分のレベルがどのくらい分からなかったけれど、レースウィークに入って、やっていたことが正しかったと確認できた。予選は特に戦略はなく、各セッションを全力で走るだけでした。コンディションが合えばコースレコードを狙いたいと考えていたけど、路面温度が高く、難しかった。決勝も路面温度次第で、高くなればいろんな問題が出てくるだろうけど、おもしろいレースになるでしょうね。当然、2レースとも勝ちを狙っていきます!」



QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW



中上貴晶が絶好調! コースレコードで ポールポジション!!



Pole Position 中上 貴晶 1'54.822

「J-GP2の車両ができるまではST600にスリックタイヤでテストしていて、本番車で走れたのが5月末のテスト走行でした。昨年は乗っていないので比較はできませんが、走りやすいレーサーバイクになっていて、すごく気持ちよく乗れました。テストから順調に走り込み専念でき、ユースドタイヤでもタイムが出ているので、文句のつけようがないくらい、いい仕上がりになっています。昨年のMoto2クラスの1分53秒0をターゲットにしていたので、目標にはまだまだ速いですね。開幕をずっと待ち続けてきたので、決勝はドライで気持ちよく攻めたい。優勝はもちろん、目標タイムも狙って頑張ります!」



激戦区のST600は 地元の渡辺一馬が ポールポジション!!



Pole Position 渡辺 一馬 1'56.033

「テストから調子よかったのでタイムは出ると思っていましたが、ポールタイムはもう少し速いと思っていたので、ポールポジションを取ることができて自分でも驚いています。ブリヂストンの新型タイヤの性能をボク自身がまだ100%引き出せていない。セッティングと自分の乗り方の両方を試しているところで、もっとタイムが出せると思います。このクラスでポールからスタートするのは初めてなので、決勝がどう展開になるかわかりませんが、地元のコースなので、みんなに「応援に来てよかった」としてもらえるようにいい走りをしたい。やれることを精一杯やって表彰台を目指します!」



調子は上向きと言う 徳留真紀がポール ポジションを獲得



Pole Position 徳留 真紀 2'02.386

「コース改修で路面が張り替えられたのが、小排気量クラスには影響していると思う。進入とかコーナーはスムーズに走れるけれど、立ち上がりでパワーが出せず、相対的にタイム落ちてくるという印象ですね。昨年の中盤あたりまで、マンシ的にひどい状態が続いていたのですが、後半からバイクも人間も調子が上がり、その流れで今回も安定して走れているので、周りより少しはアドバンテージがあるかもしれない。決勝はたぶんジョウヤン(仲城)が前に出て、最初の2、3周はペースを上げてくると思うので、離されないように、後ろの集団に飲み込まれないように気をつけて、最初からいいペースで走りたいですね!」



- 予選・決勝開催日/7月2日(土)
- 天候・路面/予選(曇/ドライ)・決勝(晴/ドライ)
- 決勝レース/11周

RACE REPORT



ロードレース選手権シリーズ第3戦 スーパーバイクレース in もてぎ 2011.07.02



写真上 #45長島が最後までペースを崩さず全日本初優勝
写真下 優勝:長島哲太(中央)、2位:小室旭(左)、3位:藤井謙汰

GP-MONOにスイッチ した長島哲太が緒戦で うれしい全日本初優勝!

GP-MONOは土曜日に決勝が行われた。スターティンググリッドで数台のエンジンがストールしたため、スタートは仕切り直しとなり、レースは1周減算の11周で争われた。

予選で2番手に付いていた長島哲太がオープニングラップからトップを奪い、後続と約1秒の差を保ちながら快走を続ける。2位争いは序盤から、ポールシッターの小室旭と3番手からスタートした藤井謙汰の一騎打ちとなり、何度もポジションが入れ替わる。レース終盤になると、トップの長島と2位争いを繰り広げる小室と藤井との差が縮まっていく。残り1周となったところで、藤井は2番手に付いていた小室にダウンヒルストレートで勝負を仕掛けるが、90°コーナーのブレーキングで僅かに遅れ、小室との差を逆に広げてしまう。

その後、小室が最終ラップにファステストラップをマークし、長島の背後まで迫るが、最後までペースを崩さずにトップを守った長島が、全日本初優勝を遂げた。ディフェンディングチャンピオンの藤井は3位表彰台。3台による激しいバトルが続いた4位争いは坪井浩明が制し、僅差で松井洪弥、谷川壮洋が順にチェッカーを受けた。

WINNER 優勝/長島 哲太

「テストの時から調子よかったので、一人でもタイムが出せていました。決勝は最初からスパートをかけて逃げてみようと思っていたので、思った通りのレースができてよかった。テストの時からタイムを出す練習をしてきたので決勝で成果を出せてよかった。苦しかったけれど、気持的には楽な展開でレースができました。これまでにいい結果を残せていなかったのが、初優勝はめちゃくちゃうれしいです。テストからいいタイムを出せたことが、今までなかったもので、レース前はかなり緊張しましたが優勝することができて、次のレースへの自信につながりました!」

GP-MONO 決勝レース結果

Pos	No	Rider	Team	Total Time
1	45	長島 哲太	Projectμ7C HARC	23'07.549
2	2	小室 旭	Team KOMURO with HARC	23'08.014
3	1	藤井 謙汰	F.C.C.TSR Honda	23'09.321
4	7	坪川 浩明	TEAM-MARGUERITE	23'22.957
5	4	松井 洪弥	TEAM PLUS ONE	23'23.098
6	3	谷川 壮洋	CLUB PLUS ONE	23'23.220
7	16	葛西 雅迪	タニシ&Speed Heart	23'39.499
8	66	溝田 農央	MFJ・RR・アカデミー・IF	23'39.499
9	88	中本 貴也	18 GARAGE RT with モリワキ	23'43.513
10	75	古市 右京	ASPIRATION.A-next	23'43.523
11	14	山本 恭裕	広島カジタ Racing&LRC	23'49.014
12	99	中 臺 翔太	テルル・ハニービーレーシング	23'49.014
13	50	鳥羽 蓮	チーム テック2 & TDA	23'49.126
14	23	高瀬 敬次	近畿スポーツランド マックウエスタン	24'00.675
15	22	三好 菜摘	オールスターモータースポーツ	24'03.064
16	11	畑中 要	FTR・タイヤナビ	24'03.306
17	20	赤間 清	CLUB・HARC-PRO.	24'06.172
18	46	伊達 悠太	犬の乳産園.JP/プリミティブ	24'10.829
19	10	江崎屋 学	犬の乳産園.JP/PRCS	24'12.098
20	25	岩本 有司	オールスターモータースポーツ	24'12.637
21	26	岡崎 智	team KAZUMA & FORMULA	24'21.831
22	12	大迫 敏信	TEAM PLUS ONE	24'31.345
23	64	小倉 弘	TS関東&(株)小倉電設	24'46.914
24	84	長島 智司	G-TRIBE&マ・ガレット	24'51.616
25	19	岡崎 静夏	KoharaRacing	24'59.074

以下フィニッシュライン不通過:
26 17 松江 保幸 Projectμ7C HARC 19'26.402
以上 規定周回数完走:
44 林 祥由 TEAM TECHNICA 2'21.295
37 増田 颯也 クラブM+松田塾+翔RT
49 後藤 満 キトキRT☆横倉自動車工業
57 吉田 智彦 DETO Racing スタートできず
参加台数 30 台 / 決勝出走台数 30 台
BEST TIME No.2 小室 旭 Team KOMURO with HARC
2'04.973 11/11 138.31km/h
規定周回数 8
国内競技規則 ロードレース競技規則 付則4 17-4-11 (スタートディレイト)により、レース周回数を11周とした。

JSB 1000

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走28台
●[Race2]決勝スタート/15:25(18周)

Table with columns: Pos, No., Name, Team, Machine, BestTime. Lists race results for JSB 1000 class.

以上 第3セッションにて決定:

Table with columns: Pos, No., Name, Team, Machine, BestTime. Lists results for the 3rd session.

以上 第2セッションにて決定:

Table with columns: Pos, No., Name, Team, Machine, BestTime. Lists results for the 2nd session.

以上 予選通過車両:

Table with columns: Pos, No., Name, Team, Machine, BestTime. Lists qualifying riders.

予選参加台数 28 台 / 出走台数 27 台

予選通過基準タイム (総合 110%) 2'01.607

★JSB1000[Race2]のスターティンググリッドは、ノックアウト公式予選Q3(第3セッション)まで終了したタイム順となります。

J-GP3

●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走30台
●決勝スタート/10:15(12周)

Table with columns: Pos, No., Cls., Name, Team, Machine, BestTime. Lists race results for J-GP3 class.

以上 予選通過車両:

Y=youthクラス / P=プロト車両

予選参加台数 30 台 / 出走台数 30 台

予選通過基準タイム (110%) 2'14.624

ST 600

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走41台
●決勝スタート/12:25(15周)

Table with columns: Pos, No., Name, Team, Machine, BestTime. Lists race results for ST 600 class.

以上 予選通過車両:

Table with columns: Pos, No., Name, Team, Machine, BestTime. Lists qualifying riders.

予選参加台数 41 台 / 出走台数 41 台

予選通過基準タイム (110%) 2'07.636

J-GP2

●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走18台
●決勝スタート/14:25(15周)

Table with columns: Pos, No., Name, Team, Machine, BestTime. Lists race results for J-GP2 class.

以上 予選通過車両:

参加台数 18 台 / 出走台数 18 台

Rマークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 1'55.814

予選通過基準タイム (110%) 2'06.304

INFORMATION



JSB1000 優勝者当てクイズ

7月3日(日)は、メインレースが2倍楽しめる! 2レースのJSB1000、それぞれの優勝者を当てよう!!

何と今回のもてぎラウンドは、メインレースのJSB1000クラスが1日に2レース開催となります。午前と午後、2つのレースの優勝者を当ててください!

- 受付場所 / グランドスタンドプラザ特設ステージ横
■受付時間 / 7:30~11:00
■参加料金 / 無料

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

Table with columns: Time, Event. Lists the race schedule and timing.